

World News

衛星関連ニュース

1. オービタル社は日本の放送衛星 BSAT-2cの契約をした事を発表

2001年10月1日、オービタル社(Orbital Sciences Corporation)は日本放送衛星システム株式会社(B-SAT)とBSAT-2c放送衛星の契約にサインした事を発表した。BSAT-2cはオービタル社が担当するB-SAT社及び関係民放各社に対する、3機目の放送衛星である。BSAT-2c衛星は、7月のアリアンVロケットで打上げられたBSAT-2bが、アリアンロケットの一段目の推力不足から予定軌道に投入できず、打上げ失敗となった為の代替機である。BSAT-2cは2003年3月に打上げられる予定である。契約額等は発表されていない。BSAT-2c衛星は、オービタル社の小型商業衛星プラットフォーム"STARバス"で設計される。STARバスは、搭載放送中継器の数が比較的少ない場合に、搭載効率の良い衛星プラットフォームである。B-SAT社の、BSAT-2a、および-2bは今回の調達衛星BSAT-2cと同じSTARプラットフォームである。最初の衛星、BSAT-2a 2001年3月に打上げられ現在、日本国内でDTHサービスを実施している。オービタル社は、現在NTT DoCoMoの移動体衛星N-STARcをロッキードマーチン社と共に建造中である。また、パンナムサット社のGalaxy 12 C-Band衛星を建造中である。

Orbital社10月1日プレスリリース記事

2. Alcatel Space社はラテンアメリカで

のKu-Band地域通信衛星をStar One社から受注

2001年10月5日 - ブラジルの衛星運用会社Star One社はラテンアメリカでのKu-Band地域通信衛星の調達をAlcatel Space社に決定した。



Star One社調達衛星のサービス地域

調達衛星はAlcatel社の標準バスのSpaceBus 3000B3プラットフォームを用いて建造される予定である。衛星納期は契約後27ヶ月で軌道上渡しで納入される。投入静止軌道は西経67度である。

衛星は、C-シリーズの1番目で - 36MHzバンド幅で44本の高出力Ku-バンドトランスポンダを搭載し、南アメリカでマルチメディアと高速インターネットサービスを提供する。

Star One社のEdson Soffiatti最高経営責任者は「南アメリカでの強い衛星オペレータになり、Star Oneサービスを拡大するという私達のビジョンの改善の第一歩である」とのコメントを発表しました。

Alcatel 社のジーンクロード Husson 最高経営責任者は、「Alcatel Space が、ラテンアメリカのために新しい地域通信衛星を建造する為に選ばれた。Star One 社は、私達の新しい顧客であり、その衛星群を拡大させるのに加われることを誇りに思っている。この契約は、ラテンアメリカ市場での Alcatel スペースのために非常によい機会となる。」と述べている。

Star One 社：

ラテンアメリカでの最大の通信衛星運用会社である。以前は、Embratel のビジネスユニットであったが、2000 年 12 月から、米国の WorldCom によりコントロールされた Embratel と欧州の Societ Europeenne des Satellites SA(SES)/Astra の合併会社である。Star One の資本は Embratel が 80% および Astra が 20% である。

Star One 社はグローバル衛星通信会社の中で 11 番目にランク付けされている。Star One 社は 5 つのラテンアメリカ衛星軌道を保有している。

Alcatel スペースは、2000 年に、10 機の衛星を受注（市場の 27%）している。

Alcatel 社 10 月 5 日プレスリリース記事

3 . Eutelsat は ATLANTIC BIRD2 衛星が南北アメリカ、欧州、中東、中央アジア間での商用衛星通信サービスに入ったと発表

Eutelsat は 10 月 18 日に ATLANTIC BIRD2 が商用衛星サービスを開始した事を発表した。この衛星は 9 月 25 日に西経 8 度にアリアン フライト 144 で打上げられ軌道上試験を経て Eutelsat に引き渡された。衛星はニュースギャザリング、放送、

及び、通信需要拡大戦略地域（南北アメリカ、欧州、中東、中央アジア）における企業内通信網の確保を目的にしている。



- Atlantic Bird™2 Eutelsat 提供 -

Eutelsat は大西洋間での通信強化の為に ATLANTIC BIRD 1 を 2002 年 1-3 月期に西経 12.5 度に打上げる計画である。

Eutelsat 社 10 月 19 日プレスリリース記事

4 . ロラール社は前ロラールアジアパシフィック社長のビルライト氏を、Loral/HISDESAT 合併会社「XTAR 社」の社長に任命したと発表

ライト氏はアジアのすべてのロラールオフィスの最高責任者であるが、34 年間の合衆国海軍での海軍少将としての経歴で有名である。1998 年米国海軍を退役、同年 Loral に入社した。海軍では、戦略的な計画部門を担当、政府レベルの案件を扱う広い経験を得たこと、政府間の重要な協議、い

くつかの政府との連絡を伴う国際的な仕事を行ってきた事は有名である。ライト氏の経歴は U.S. Naval Academy (米国海軍士官学校) 工学学士、Naval Post Graduate School でオペレーションズリサーチ修士。また、彼の海軍での勤務の間に、各種の勲章を授与されている。XTAR 社は、ワシントンに本社を置き、合衆国、スペイン国務省及び同盟国の政府ユーザーへ X-バンド衛星通信サービスを提供する事を目的に設立された。XSTAR 社の最初の衛星、XTAR-EUR は現在 Space Systems/Loral 社で建造中で、2003 年にサービスインを予定している。XTAR 社は Loral と HISDESAT の合併会社である。HISDESAT S.A. は沢山のスペインのパートナー会社から構成されており、特に HISPASAT が主要株主である。HISDESAT は Spainsat 衛星を運用する予定で、スペイン国務省に対する通信を目的としている。Spainsat は SS/L で現在建造中で、2004 年にサービスインの予定である。

ロラール社 10 月 10 日プレスリリース記事